

静岡県立富士高等学校

令和8年度 学校経営計画書

1 目指す学校像

(1) 教育目標

校訓「克己心身を練れ 勤勉実力を養え 至誠事に当れ」のもと、約 100 年もの長きに及ぶ伝統や地域における本校の役割を踏まえ、「社会の発展に寄与するために、主体的に学び続ける人材を育てる」ことを目指す。

(2) スクール・ミッション

県東部地区における高校教育の拠点校として、幅広い知識や教養の修得を基盤とした上で、物事を柔軟に捉えて解決策を導き出す探究的な授業や探究活動を通して、国際社会や国内及び地域の発展に寄与するために、百尺竿頭の精神を失わず主体的に学び続ける各分野の先導的な人材の育成を目指す。

(3) スクール・ポリシー

①富士高 GP【Graduation Policy】

卒業までに次の 8 つの資質・能力(富士高エイト)を育成します。

視野の広さ：物事を見る時に先入観にとらわれず、広く客観視することができる力

主体性：自分の意志や判断に基づき、責任を持って取り組む力

行動力：自ら考えたことをためらうことなく、積極的に実行に移せる力

論理的思考力：物事を体系的に捉え、筋道を立てて考える力

協働性：他者と協力して課題解決に向かう力

協調性：自分とは異なる環境や立場にいる人が互いに譲り合って協力できる力

柔軟性：意見の違いや立場の違いを理解し許容する力

傾聴力：他者の意見を謙虚に聴く力

②富士高 CP【Curriculum Policy】

富士高 GP に掲げた富士高エイトを育成するため、以下のような教育課程を編成します。

なお、各々の教育活動を通じて育てたい資質・能力は別紙に掲載します。

○授業：必修科目と選択科目を体系的に編成し、幅広い知識と技能を習得させ、思考力・判断力・表現力や主体的に学習する力を身に付けさせる授業を開講します。また、「主体的・対話的で深い学び」を推進し、自身が抱く考えや意見について他者と論議することで新たな思考プロセスを獲得させ、その過程を通じ、課題を主体的にとらえる態度、答えの簡単に出ない課題であっても粘り強く取り組む姿勢を育成します。さらに、グローバル化する社会にあって世界の人たちと繋がり共生していくために、自らの考えを発信し異国の文化や社会を理解するための「英語力」、タブレット端末を使用した「情報力」の確立を目指します。

○探究活動（総合的な探究の時間「心見考」）：将来の自分をイメージさせることにより、国際的な視野と高い見識をもち、優れた判断力や創造力によって社会に貢献しようとする人材を育成するため、全校を挙げて探究活動を推進します。

○学校行事・生徒会活動：グローバル社会を生きるリーダーとして必要な人権感覚、高い品位と社会性、国際感覚を備えた人材を育成するために、様々な学校行事・生徒会活動を実施します。

○ホームルーム活動：望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学習環境づくりに参画し、自主的な態度や健全な生活態度を育てるため、充実したホームルーム活動を実施します。また、それぞれの活動を通じ、他者への思いやりの心につながる「道徳心・豊かな人間性」、正しいことは何か、自らがすべきことは何かを判断する「価値観」を育てます。

○部活動：他者と協働する活動を通して、「知・徳・体」のバランスがとれた人材を育成するため、部活動を奨励します。

○キャリア教育等：生徒個々の進路希望の実現を目指し、高い志とチャレンジ精神を養うため、通常の授業に加えて、放課後、長期休業などあらゆる機会をとらえ、個々に応じたきめ細かい個別指導を行います。

③富士高 AP【Admission Policy】

本校に入学する生徒には、以下に掲げた能力や適性を求めています。

ア 入学後も高い志を持ち続け、自らの進路を切り拓いていこうとする気概のある生徒
→学びたい授業がある、取り組みたい教育活動がある、進学したい大学がある、将来の叶えたい夢があるなど、志望の動機が明確である。

イ 論理的思考力が高く、判断力・表現力や主体的に学習する姿勢が身につけている生徒
→富士高の教育課程を十分に活用でき、高い目標を掲げた生徒たちと良い刺激を受けあうことができる能力を有している。

- ウ 「知・徳・体」のバランスがとれ、他者と協働することに意義を見出す生徒
→思いやりにあふれ、人との関わり合いを大切にでき、他者の生き方や価値観を認めることのできる高い品位と社会性を有している。
- エ 広い視野と柔軟な発想力及びチャレンジ精神を有し、社会に貢献しようとする生徒
→グローバル社会を生きるリーダーとして必要な国際感覚や人権感覚の持ち主で、解決困難な課題に粘り強く取り組み、自らの考えを周囲に的確に伝える能力を有している。

(4) 目標具現化の柱

- ア 十分な知識と技能を習得させ、思考力・判断力・表現力や主体的に学習する力を身に付けさせるとともに、他者と協働する活動を通して、「知・徳・体」のバランスがとれた人材を育成する。
【富士高エイトのうち、主体性、論理的思考力、協働性、協調性、傾聴力に関連】
- イ 高い志とチャレンジ精神を養い、幅広い視野と高い見識をもち、優れた判断力や創造力によって社会に貢献しようとする人材を育成する。【富士高エイトのうち、視野の広さ、主体性、行動力、論理的思考力に関連】
- ウ グローバル社会を生きるリーダーとして必要な国際感覚、人権感覚、高い品位と社会性を備えた人材を育成する。【富士高エイトのうち、視野の広さ、協働性、協調性、柔軟性に関連】
- エ 地域との連携及び積極的な情報発信により、「開かれた学校づくり」を推進するとともに、働き方改革の趣旨を踏まえた効率的な業務の運営を図る。また、適切な事務の執行により教育環境の整備を図る。【富士高エイトのうち、視野の広さ、行動力、協働性に関連】

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	日常的な授業改善への取組等を通し、生徒の主体的な学びを促し、学力の向上を図る。	授業改善への取組と高い学力の育成 ● 授業公開や予備校講座への参加等による教員相互の授業研究や研修、「高校生のための学びの基礎診断」を活用した生徒の学力等の把握・検証を通じ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に、積極的・意欲的に取り組む。 ● 総合的な探究の時間における探究活動（「心見考」）の実践や授業改善、主体的に学びに向かう力をはじめ、高大接続改革等に対応した高い学力の育成を図る。 ● 国及び県の推奨する保護者負担による1人1台端末の本格整備を踏まえ、全ての教科において ICT(タブレット)を効果的に活用した授業実践を推進する。 ● 授業改善につながる「富士高型観点別学習評価」を確立する。	● 「授業(分かりやすさ、意欲等)は概ね適切」と答える生徒・保護者 90%以上 ● 「授業改善に取り組んだ」と答える教員 100% ● 「タブレットを効果的に授業に活用している」と答える教員 100% ● 「主体的に学習に取り組んでいる」と答える生徒・保護者 85%以上、「学校は生徒の学力向上に努力している」と答える生徒・保護者 80%以上	教務 研修 学年 情報推進
		理数教育の推進 ● 課題研究等、理数科行事の一層の充実を図る。	● 各種行事生徒満足度 4.5 以上(満点 5.0)	理数
イ	高いところざしを育み、進路実現を図る、計画的・組織的・継続的な進路指導を実践する。	将来を見据えた進路指導の充実 ● 職場体験、進路講演会、大学訪問等により、主体的な進路選択ができる能力等を育む。 ● 入試検討会や校内研修会により、計画的な進学指導を行う。	● 「学校は、生徒の進路希望に沿った適切な進路指導をしている」と答える生徒・保護者 85%以上	進路 研修
		的確な進路情報の収集と分析及び生徒・保護者への提供 ● 各種研修会への参加等を通し進路情報を収集し全職員で共有するとともに、生徒・保護者へ適切に提供する。併せて、共通テスト、個別学力試験等の研究に基づいた分析結果を、指導内容に反映させる。	● 「学校は、生徒の進路希望実現のために適切な情報を提供している」と答える生徒・保護者 85%以上	
ウ	富士高生にふさわしい品位ある態度や行動を促すとともに、リーダーとしての社会性や国際感覚を育む。	基本的な生活習慣の確実な定着 ● 登校指導や声掛け指導により、「正しい服装」「時間の遵守」を徹底し、「挨拶」の励行を図る。	● 「学校は基本的な生活習慣を身に付けるよう適切な指導をしている」と答える生徒・保護者 90%以上 ● 「頭髪、服装指導等、学校の生徒指導に共感できる（理解している）」と答える生徒・保護者 90%以上	生徒
		自主自立の精神、集団におけるモラル・マナーの育成 ● 部活動、学校行事、生徒会活動への積極的な参画を奨励するとともに、他者との関わりの中から集団におけるモラルやマナーを身に付けさせる。	● 「富士高生のモラルやマナーはよい」と答える生徒・保護者 90%以上	生徒
		国際感覚の涵養と交流啓発 ● 国際交流の受入れ及び参加を奨励し、国際感覚の涵養を図る。	● 国際感覚の涵養等に資する研修会等への生徒参加の推進 ● 参加生徒による全校生徒への	研修

			共有化	
		交通安全意識の向上 ● 被害者・加害者にならない指導を徹底し、自転車等による事故を防止する。	● 自転車事故件数10件以下、重大自転車事故件数0件 ● 「学校の交通事故等に関する指導は適切である」と答える生徒・保護者90%以上	生徒
		人権尊重の精神の育成 ● 「富士高校いじめ防止基本方針」に則り、いじめを許さない意識の高揚を図るとともに、人権尊重の精神を涵養する。	● 人間関係づくりプログラム、人権プログラムを定期的実施	生徒 教育相談
エ	豊かな感性を育み、心身の健康の保持・増進を図る。	感性を育む活動の推進 ● 読書週間やコンクール等を有効活用し、読書活動を推進する。 ● 芸術鑑賞会の充実を図る。	● 学校図書館の蔵書の貸出数1500冊以上	図書
		生徒の健康状態の把握と対応 ● 毎朝の健康観察により、生徒の健康状況を確実に把握し、養護教諭等と連携して早期に対応する。 ● スクールカウンセラー等を活用した教育相談体制の周知と充実を図る。 ● 薬学講座等を通じて命の大切さを学ぶ。	● 「学校は生徒の健康、安全、衛生面に配慮している」と答える生徒・保護者85%以上 ● 「学校は悩みや相談に適切に対応している」と答える生徒・保護者80%以上 ● 講演会等の実施	保健環境 教育相談
		教育環境の整備・充実 ● 安全点検・施設設備点検を行い、危険箇所等の把握に努め改善する。	● 学習環境の改善・安全対策修繕10か所以上	保健環境 事務
オ	組織的な学校運営と家庭・地域等への情報発信により、信頼関係を築く。	教育活動の積極的な発信 ● 学校ホームページ、学校公式Instagram等により、情報発信に努める。 ● 地域中学校との連携を図り、学校説明会、授業公開、中学校訪問などを充実させる。	● 週に3回以上、学校ホームページ、学校公式Instagramを更新する。 ● 「学校からの情報は内容に富み参考になる」と答える生徒・保護者80%以上	研修 教務 情報推進 管理職
		不祥事根絶の徹底 ● 全教職員を対象とする校内研修を実施することにより、不祥事根絶への強い意識を維持する。	● 「研修等を通し、不祥事根絶に向けた意識が高まっている」と答える教職員100%	管理職 事務
		地域と連携した防災活動 防災意識の向上 ● 様々な場面を想定した実践的内容の防災訓練を実施する。 ● 広報活動を通じて防災に関する啓蒙を行う。	● 「防災意識が高まった」と答える生徒・教職員80%以上 ● 「家庭で防災に関する話し合いを行った」と答える生徒・保護者50%以上	総務
カ	適切な事務の執行を行い、信頼される事務室を目指す。	適切な事務執行と予算の有効活用 ● 法令遵守を根本に、円滑な学校教育活動の実施を支援する。	● 監査における指摘0件 ● 経営予算執行残が0.5%未満	事務
		施設設備の保全と安全対策 ● 定期点検や早期修繕に努め、老朽化等による事故発生を防ぐ。	● 施設設備における事故発生0件	
キ	働き方改革を踏まえた業務改善を推進する。	多忙化解消のための業務改善の推進 ● 目的に立ち返って学校行事等の意義を見直す。 ● 会議、印刷物等の削減を図る。	● 1分掌1業務改善の提言	企画委員会
		健全な部活動の推進 ● 部活動の目的・意義を踏まえつつ、生徒・教員にとって無理のない活動時間を設定する。	● 「部活動ガイドライン」の趣旨を遵守している部活動100%	生徒
		教職員の健康を守る勤務管理 ● 教職員の休暇取得を励行する。 ● 定時退勤日を厳守し、職員室等で残留する業務を削減する。	● 年休取得前年比増(5日以上) ● 時間外業務時間の職員月平均40時間以下	管理職